

第 102 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 30 年 1 月 30 日 (火)
- 2 開催場所 割烹さわ (高崎市八島町)
- 3 出席について
 - 委員総数 12 人
 - 出席委員数 8 人
 - ラジオ高崎 4 人
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 年末年始の特別番組について
 - 夕方ワイドエアースプレイスの新出演者について
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申、また改善意見に対してとった措置及びその年月日
- 7 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内

<http://www.takasaki.fm>
- 8 その他の参考事項

(別紙) 議事の概要

(ラジオ高崎の番組について)

事務局

年末年始の特別番組・夕方ワイド「エアースペース新出演者」について

○「高崎新聞で振り返る今年の高崎」

放送日時：2017年12月30日13:00～13:59（本放送）

12月31日正午～12:59（再放送）

高崎の過去・現在・未来を、さまざまな角度から発信する「インターネット高崎新聞」。重大ニュースや日々の出来事から、高崎新聞記者・新井重雄が2017年の高崎を独自の切り口で鋭く分析した。

○「新春対談2018」

放送日時：2018年1月1日AM11:25～11:54（本放送）

1月4日PM7:00～7:29（再放送）

1月5日PM3:00～3:29（再放送）

毎年、豪華なゲストをお迎えしてお送りする新春対談、2018年は富岡賢治高崎市長と原浩一郎高崎商工会議所会頭、そして高崎発で日本を代表するものづくり企業「太陽誘電」の登坂正一代表取締役社長が、高崎の経済、政策、まちづくり、ソフトボールなど多岐にわたって意見を交わしました。

○「高崎だるま市」

放送日時：2018年1月1日AM10:45～11:14

1月2日AM10:45～11:14

高崎の正月の新しい風物詩「高崎だるま市」を2日間生放送で紹介。富岡賢治高崎市長、小見勝栄高崎だるま市実行委員長をお迎えして、だるま市の盛り上がりを余すところなくお伝えした。

○「エアースペースの新出演者について」

平日午後4時から3時間生放送の「エアースペース」で、昨年11月より第1・3・5火曜日に俳優の渋川清彦氏にご出演頂いている。

上記説明のあと、番組や新年度編成に向けて広く意見を求めた。

委員各位の意見

○「エアープレイス」のゲストパーソナリティーは番組優先でスケジュールをおさえてあると聞いていたが、実際、番組への影響はないか。

(事務局) 落語家の林家つる子さんは、二つ目という立場もあり師匠からの寄席出演依頼は断れずに2か月に一度くらいは番組を休むことがある。その場合は、地元のシャンソン歌手や国際山岳ガイドの方などが出演している。作家の絲山秋子さんは1年の契約満了で、本人の希望から昨年10月末で出演が終わった。来年度の編成では、曜日(月1回・隔週も含む)固定ゲストにしたい。

○俳優の渋川清彦さんが出演することになった経緯は。

(事務局) ゲストパーソナリティーとして俳優さんの出演を熱望していた。高崎の映画関係者を通して、渋川市出身の俳優渋川清彦さんに連絡を取り出演依頼をしたところ快諾してくれた。渋川さんも以前から番組を聞いて頂いており、元BOOWYのベーシスト松井常松さんなど地元アーティストも出演している番組にご自身が出られることを光栄と感じてもらえた。

○エアープレイスについて、リスナーから厳しい意見が届いたことはないか。

(事務局) 今まで、ゲストパーソナリティーとナビゲーターが進行するという番組全体への苦情はない。使っている言葉が違う、地名が違うといったご指摘を頂くことはあり、その都度、内容を確認して必要な場合は訂正放送をしている。

○エアープレイスは前橋でも一部がOAされているが、リスナーからの反応はあるか。

(事務局) 番組で前橋で聞いている人からのメッセージを募ることもあり、しっかり反応してもらっている。番組内に前橋の地名も多く出てくるようになった。以前は曜日ごとの出演者のファンからのメッセージがほとんどだったが、最近は違う曜日にも同じリスナーからメッセージが届くようになり、また、初投稿も増えている。

○40～50代くらいに向けた選曲は、その年代としてありがたい。ターゲットリスナーを更に上や下に広げることは考えているか。

(事務局) 富岡賢治高崎市長の番組では、市長自らの選曲で映画音楽やオールディーズ・シャンソン等、非常に魅力ある往年のナンバーをお届けしている。他の番組でも、60～70代の方に聞き馴染みのある音楽のOAを考えていきたい。若い世代に向けた音楽は、これまで構築してきた「大人の音楽を聴け

るラジオ高崎」という全体イメージから積極的な放送はしない。もちろん、話題性のある新曲は紹介しており、今後もこういった方針で選曲する方針。

- 朝夕の通勤時間に入手できる情報は非常にありがたい。変化の速い高崎の動きもリアルタイムで分かる。一方で、「福祉チャンネル」などのような、福祉や介護などに関する明るい雰囲気の番組があってもいいのではないか。市民に分かりやすく伝えられると思う。
- 「ポケットパラダイス」へイベント情報を提供したら、放送ですぐにきめ細かく紹介してくれた。これぞコミュニティ放送の果たす役割だと思う。今後も、市民に役立つ情報をどんどん紹介して欲しい。
- 音楽に関しては、70年代から80年代のJ-POPが流れる時間を増やして欲しい。
- 今後、ホームページ等でも曲名がわかるような仕組みが出来るとよい。
- イベント放送を更に積極的にやって欲しい。
- 安心して長く番組を聞いてもらうためには、番組を変えないこと。他局でもよく聞かれるのは、いわゆる長寿番組。ラジオ高崎にもそういう番組を作るべきだ。

以上